

生命体工学研究科に入学した皆さんへ

生命体工学研究科長 花本 剛士



新入生へ向けて

九州工業大学大学院生命体工学研究科に入学された新入生の皆さん、おめでとうございます。心より喜び申し上げます。生命体工学研究科は2000年に本学の第3のキャンパスとして設立された、学部を持たない独立大学院です。翌年、21世紀の開始と同時に、若松区の北九州学術研究都市にて学生の受け入れを始めました。北九州学術研究都市は全国で唯一、国公私立大学が進出している学研都市です。また北九州産業学術推進機構を核として多くの研究機関も進出しており、皆さんの教育研究環境としては申し分のない場所です。

多くの学生はここでの日々が学生

時代の締めくくりの場となり、本研究科から社会に羽ばたくこととなります。特に博士前期課程の2年間は、あつという間に過ぎてしまいますので、しっかりと計画を立てて日々過ごしてください。大学院ですの自ら進んで研究を行いたい、最先端の教育を受けたいと思っている学生が集まっていると信じています。就職活動に多くの時間を費やす学生もいますが、就職することがゴールではなく、新しい人生のスタート地点だということを意識し、日々の勉学・研究を積み重ねておくことが重要です。そうすれば、就職活動にも何が必要かは、自ずとわかると思います。学生時代に「自ら継続して学ぶ」という能力を身に着けることが大切です。このため生命体工学研究科では、学研都市連携大学院インテリジェントカー・ロボティクスコース及びカーエレクトロニクスコース

等、大学院レベルに相応しい様々な教育プログラムを準備・拡張していきます。一方、グローバルエンジニアを育成するための海外インターンシップや短期留学制度なども単位化し充実させています。

また、本研究科をはじめ学術研究都市には多数の留学生が学んでいいますので、積極的に彼らと交流を持ち、国際的な感覚を身につけることも勧めます。日本での常識が世界では通用しないことは多々あります。習慣や宗教の違いに気が付くことも大切です。今日では、どの企業に就職しても共通語として英語でのコミュニケーションは必要となつていきますし、その際にお互いの背景にある文化の違いを理解しておくことは将来必ず役立つことでしょう。

前期課程修了後に後期課程へ進学し研究を深化させることもできます。現在の科学技術の進歩は目を見張るものがあります。時代の変化にも対応できるよう、幹を太くし、強風にも耐えうる根を張った樹木のような研究者となれるよう、後期課程で実力を身につけ博士の学位を携えて社会に羽ばたく道があることを現時点

から意識しておいて下さい。もちろん、前期課程修了後、働きながら社会人学生として学んでいく道もあり、現に後期課程の定員の約1/3は社会人学生です。技術者としての学びは一生続きます。

また、学生時代には体を鍛えておいて下さい。物事を進めていくには体力勝負になることが多々あります。集中力も体力がないと続きません。体力も知力と同じで短期間で身につくものではありません、しかも歳を取ってからの挽回が難しいものの一つです。運動の得手不得手は関係ありません。各自に合った方法で継続して下さい。

最後になりましたが、学生時代の大きな目的の1つは、生涯の友を作ることだと思えます。お互いを高めあえる関係を持てる友人ができれば生涯にわたる財産になります。

我々教職員も、皆さんと長く付き合えることを楽しみにしております。これから一緒に前進していきましよう。